

令和元年度岩美中学校（地域連携）部　3 学期マネジメント						
理想とする生徒像				年 間 目 標	①　学年集会の際に、教員の思いを伝える。	
自分たちで企画・運営し、より良い集団を目指し動く生徒					②　スモールステップで、子どもに任せる場面を設定する。	
				③　1 年間の「総合的な学習の時間」のイメージをはっきりさせる。		
目標 番号	3 学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	1 月	2 月	3 月
①	適宜、学年集会を開き、教員の思いを生徒に伝える。 実施できたか。	必要に応じて、合同帰り学活での学年集会など、学年集会の機会を設定する。	学年主任			
②	1 年生 月 1 回の正副室長会を開催し、現状を基に改善案などを話し合い、各クラスに返していく。 実施できたか。	適宜、正副室長会を開催し、生徒同士で課題を見つけ、改善案を出させる。	1 学年主任			
②	2 年生 年間 6 つのPJを計画し、リーダー 4 人程度を募り、改善策を企画・実施させ、目標達成まで繰り返し行う。 実施できたか。	学力向上、キャリア教育、修学旅行、生活力向上、ボランティア、コミュ力向上の 6 つのPJについて 4 名程度のリーダーを学年から募り、目標達成に向け企画・実行・振り返りの過程を繰り返し実施させていく。	2 学年主任			
②	3 年生 月 1 回の正副室長＋生徒会執行部員で会を開催し、現状を基に改善案などを話し合い、学年集会で全体に伝える。 実施できたか。	適宜、正副室長を中心に会を開催し、生徒同士で課題を見つけ、改善案を出させ、合同帰り学活を開き、全体に伝えていき、改善活動を実施させる。	3 学年主任			
③	各学年、総合を中核としたカリマネ表を拡大印刷し、各学年の階の廊下に掲示し、担当教員で適宜修正を行っていく。 修正の線が記入される。	カリマネ表を各階に掲示し、教員が総合と自身の教科のつながりを意識し、適宜、変更を加える。	黒岩			
		総合の見通しを持てるように、生徒の目にふれる場所にカリマネ表を掲示する。	全職員 黒岩			
③	各学年の総合のテーマとして、「志を基に考え、今の自分に何ができるか」を考え、実践する課題を設定する。 総合の学習テーマに位置付ける。	各学年の総合のテーマとして、「本年度、総合で学んできたことを活かし、志を基に考え、今の自分に何ができるか」を考え、実践し、体感できる学びを課題として設定する。	地域連携部員			
③	総合的な学習の時間の学びを再検討し、来年度へ向けてカリキュラム・マネジメント表を作成する。 作成できたか。	総合的な学習の時間の課題内容を再検討し、来年度、探究的な学びになるような課題を設定し、カリキュラムマネジメント表を作成・掲示できるように準備する。	地域連携部員＋全職員			
				原案作成	全職員で検討	カリマネ表完成